

◇貝森小と国見小の統合準備の状況を保護者・地域の皆様にお知らせします◇

統合準備ニュース 第3号

～地域の担い手となる 子どもたちの未来を見つめて～

2014.2月発行

編集発行：統合準備委員会事務局
問合せ先：仙台市教育委員会
学校規模適正化推進室
TEL:214-8432 FAX:264-4428
Mail:kyo019031@city.sendai.jp

子どもたちが安全に登下校できるよう協議を進めています

2月6日(木)に開催された第3回統合準備委員会では、前回に引き続き、登下校時の安全確保策について協議が行われました。

○安全確保策が必要な場所を確認しました

前回の協議で委員から出された意見と両校及び両地域の関係団体より寄せられた「統合に係る意見」をもとに、子どもたちが安全に登下校するために何らかの安全確保策が必要となる場所を整理し、それぞれの状況について委員が確認を行いました。



安全確保策が必要な場所と状況 (※2ページに地図を掲載しています。)

- | | | |
|------------------------|---|--|
| ① 貝森小前の交差点 | … | ・登校時間帯に進入規制が行われているが、団地内に進入する車がある。 |
| ② 貝ヶ森郵便局付近 | … | ・坂道になっており、スピードを出して下る車がある。 |
| ③ 貝ヶ森1、2丁目のバス道路 | … | ・両地域の児童が通るため、通行量が増える。・歩道が狭い。
・冬に積雪等で歩道が凍結する。 |
| ④ 貝ヶ森6丁目付近 | … | ・宅地造成に伴う工事車両が通行する。 |
| ⑤ 東北福祉大前駅のガード付近から国見小まで | … | ・両地域の児童が通るため、通行量が増える。・歩道、道路が狭い。
・通勤通学の人、車の交通量が多い。・坂を自転車がスピードを出して下る。
・冬に積雪等で歩道、道路が凍結する。 |

○安全確保の活動について検討を進めています

現在、①～⑤の場所では、保護者・地域関係者・学校により、登校時の交通当番・交通安全指導や歩道への凍結防止剤の散布など、安全確保に関する様々な活動が行われています。

今回の協議では、それらの活動について、「児童の通行量が増える」や「歩道が狭い」など、場所ごとの状況を踏まえながら、統合後も同様の活動を継続する、活動を継続するが場所や人数など調整を行う、新たな活動を行うといった視点から、委員による意見交換が行われました。

引き続き、次回の準備委員会でも安全確保に関する活動についての検討が行われる予定です。

次回開催予定

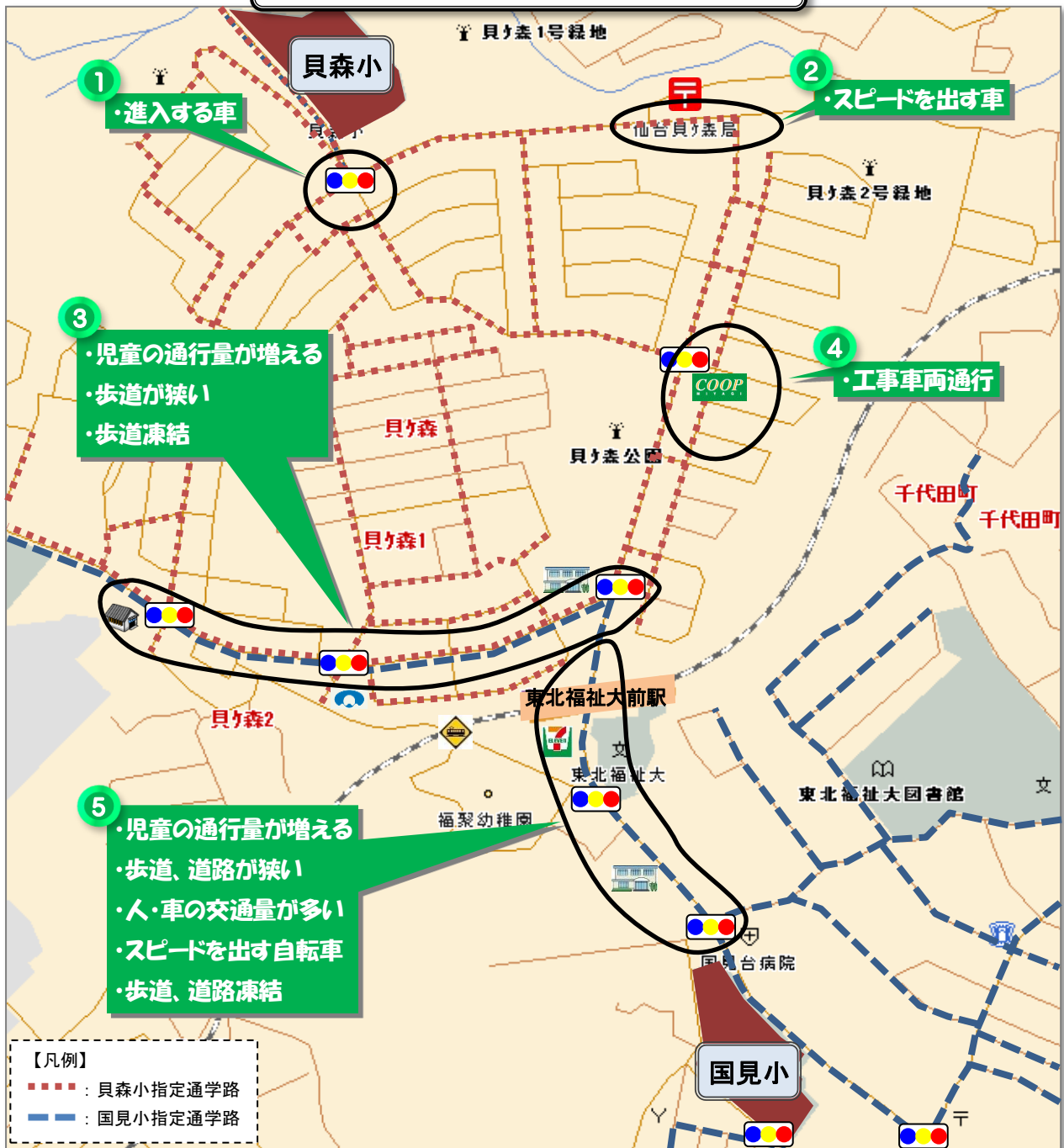
日時：平成26年6月11日(水) 19:00～
場所：貝ヶ森市民センター 2階 会議室

※取り組み内容はホームページでもご覧いただけます。

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索

安全確保策が必要な場所と状況



委員の主な意見

- ・ 貝ヶ森市民センターからガード下を通り国見小までの通学路を歩いてみた。歩道が狭く、ガードレールがついていない場所もあり、車両の通行も多い。どちらの歩道を通らせるのか、交通当番の配置や声掛けなどの指導も含めて安全確保が必要な場所だと感じている。
- ・ 現在、両校の保護者は地区ごとに決められた日に交通当番を行っている。河北仙販と旧丸吉商店付近は両校の保護者がそれぞれ立っているの、両校 PTA で地区全体の交通当番の場所や回数について調整を行ってほしい。
- ・ 貝ヶ森生協前では貝ヶ森小保護者が交通当番をしているが、車よりも自転車の走行が危険と感じる。自転車の走行に対して指導ができる人を配置してもらえればと思う。
- ・ 福祉大前駅ガード下付近での町内会による凍結防止剤の散布は今後も続けてほしい。

子どもたちの交流を進めています

11月13日（水）に実施した2年生の「お弁当会」に引き続き、両校の子どもたちが学年ごとに様々な事前交流を行いました。

11月20日（水）【みんなで遊ぼう】 1年生

貝ヶ森中央公園で生活科の活動を行いました。子どもたちはすぐに打ち解け、全員でじゃんけんゲームをしたり、グループ毎にクイズを解いたりして、公園で思い切り遊びました。

12月5日（木）【租税教室】 6年生

外部講師の税理士による合同学習「租税教室」を国見小で行い、専門的な話を聞きながら税の仕組みなどについて一緒に学びました。

12月9日（月）【なかよし連句】 3年生

貝森小の特色ある行事として例年実施されている連句づくりの活動に、国見小の子どもたちが参加しました。両校混合のグループを編成し、グループごとにアイデアを出して句をつないでいく楽しさを体験しました。

1月21日（火）【バスケットボール教室】 5年生

仙台 89ERS の選手が国見小を訪問してバスケットボール教室が開催され、両校の子どもたちがプロスポーツ選手と試合を行ったり、話を聞いたりしながら交流を行いました。

1月29日（水）【世界の言葉】 4年生

国見小の保護者と宮城学院女子大学の学生が指導者となり、子どもたちが身振り手振りを交えながら英語で活動を行いました。また、休み時間には両校の子どもたちが一緒に校舎を巡ったり、校庭で遊んだりする姿も見られました。

1年生【みんなで遊ぼう】



3年生【なかよし連句】



4年生【世界の言葉】



統合に向けて調整が行われています ～PTA・学校～

PTA： 「会則・組織体制」「役員選出」「備品」について両校PTAで打合せが進められています。統合後の「会則・組織体制」については、両校のこれまでの活動や子供会組織等も考慮しながら26年度中に決めていく予定で、「役員選出」については、両校保護者が共通認識を持ちながら行えるように進めていく予定です。「備品」については、貝森小PTAの備品のうち国見小に移動するものについて検討していく予定です。

統合時にスムーズに活動がスタートできるように、今後も引き続き調整が行われます。

○学校： 1月7日（火）に両校教職員が貝森小に集まり、26年度の両校の主な行事予定について確認するために両校合同会議が開催されました。また、校舎内も見学して、貝森小学校の子どもたちの教育環境について共通理解を図った後、事前の児童間交流について学年ごとに話し合い、来年度も子どもたちが仲良くできるように、近隣の公園での活動や施設見学などの校外学習が計画案として出されました。

26年度も全学年で様々な交流が実施される予定です。

統合に係る意見と対応について（お知らせ）

昨年末、教育委員会では、両校・両地域の関係団体の皆様に「統合に係るご意見」をお伺いしました。皆様から寄せられた主な意見と対応についてお知らせいたします。

観点		主な意見	対応
1 子どもたちの生活・安全面	児童間交流	・両校児童が統合前に十分な交流を行えるような支援をお願いしたい。	・児童間交流は昨年 11 月から開始しており、今後も両校の子どもたちが仲良くなれるよう実施します。
	きめ細かな対応	・子どもたちが新しい環境に早く馴染めるようなサポートの充実。 ・気軽に相談できる場所や見守る体制を作してほしい。	・国見小では少人数指導加配教員を配置し、きめ細かな指導を行っていますので、今後も継続します。 ・さわやか相談員及びスクールカウンセラーを配置し、子どもや保護者の相談等に対応します。
	教職員配置	・貝森小の先生の何人かでも、統合時に一緒に国見小に異動してほしい。	・貝森小教職員全員が国見小に異動することは困難ですが、子どもたちが安心できるよう両校教職員の異動に配慮します。
	施設設備	・国見小の校舎内外の整備を行ってほしい。	・国見小の現状を確認しながら改修が必要かを検討します。
2 学校行事	行事の充実	・学校間で話し合って両校の特色を生かした行事を行ってほしい。	・両校では児童・保護者・地域・教職員が大切にしている行事や活動を多く行っていますので、両校合同会議で協議します。
	地域行事	・地域住民も参加できる、両校の融合・調和のとれた行事をお願いしたい。	・保護者や関係団体のご意見をいただきながら、今後、両校で十分検討していきます。
3 子どもたちの安全・安心、防犯	通学路	・どのような通学路で登下校するのか。	・統合後の指定通学路は、現在の両校の指定通学路を 1 つに合わせたものが基本となります
	登下校時の安全確保策	・市民センター前の交差点や福祉大前駅前の安全対策を強化してほしい。 ・教職員、PTA、子供会、地域が協力して安心して登校できる環境づくり。	・現在の取組みの継続や見直し、新たな対策について統合準備委員会で検討します。必要に応じ、学校と教育委員会より関係機関への働きかけを行います。 ・信号機やガードレールの設置など、整備基準等から実施困難なものがあります。学校・保護者・地域による見守りの強化についてご協力をお願いします。
4 統合後の貝森小学校施設のあり方	検討の進め方	・住民が主体となる検討をお願いする。 ・進め方は仙台市で決定すべきこと。 ・施設のあり方を検討する組織やその進め方について情報提供してほしい。	・地域の皆様からいただいたご意見に配慮するとともに、全市的な視点から仙台市の関係部局間で協議します。 ・検討の進捗状況や暫定的な活用案など必要な情報を地域の皆様に提供します。
	施設管理	・施設の活用が決まるまで市の管理・運営を継続してほしい。 ・地域組織での管理運営は難しい。	・今後のあり方が決定するまで、警備や除草等も含めて仙台市での管理を継続します。施設の管理運営や経費負担については、施設のあり方と併せて具体的に検討します。
	施設開放	・体育館や校庭は、地域に施設開放してほしい。	・施設開放は、貝森小や周辺施設の利用状況などを踏まえ貝森小施設のあり方の検討の中で調整します。 ・今後のあり方が決まるまで、地域主体での管理運営を前提に、暫定的なスポーツ施設開放は可能です。
	避難所	・現在、指定避難所になっていることから、今後も引き続き、避難所としての機能を確保してほしい。	・統合後、指定避難所でなくなった場合でも、貝森小施設のあり方が決まるまでの間、貝ヶ森地域全体での避難所運営マニュアルの中で補助避難所として位置付けることができます。 ・新たに導入する物資を除き、暫定的に食料・飲料水の備蓄を継続することもできます。
5 その他	児童館	・貝森小統合後も現在市民センターにある貝ヶ森児童館を継続してほしい。	・仙台市では小学校区に 1 館を基本に整備しています。統合後の貝ヶ森児童館については、貝ヶ森・国見両児童館の利用状況や今後の利用見込みなどを総合的に勘案し、早急に対応方針を検討します。